

2章：いつから始めるか？

私は鳥取県と言う日本で最も人口の少ない、穏やかなカントリーサイド（意味なく英語で記してみました。つまり、田舎です。）で高校まで過ごして来たこともあり、性格もおっとりして内向的つまりマイペース。都会の喧騒の中、様々なことにアンテナを張り巡らせ、最新の情報に常に触れながら生活している人たちのあのアグレッシブで外交的な性格とは真逆だと自分で思っています。だから、何をしてもスピードが遅い。自分ではそれなりに急いでいるようでも、相対的に見ると結果は普通かそれ以下。それを自覚しているので、何かを始める時は人より早く始める習性が付いています。どこかに移動する際も、かなり時間に余裕を見て早めに出かけます。ギリギリになって、慌てて行動して間に合わせるような器用なことは出来ないし、なれないことをやって精神的にハラハラするのがとても苦手です。それより、早く行動を起こしゆったりした気持ちで行動することで、自分の実力が少なからず発揮出来ていると思っています。

そこで、中学受験についていつから始めるか？ですが、早い方が良いと私は思います。ただ、ここで注意が必要なのは、親が主導して子どもを早くから進学塾に通わせたりすることではないと私は思っています。

とは言え、私はさっき記したように日本一のカントリーサイドの鳥取出身で、妻はまあまあの田舎・大分出身です。もう少し詳しく言うと佐賀関町出身です……

～抜粋版です～

全文読んでみたいと思われた方は完成後小冊子として送付させていただきますので、

メールにてお問合せください。